

「地域再生戦略サテライトオフィスプロジェクト（徳島県）」

課題（状況）

- ・過疎地域では限界集落が多く、集落再生は県民共通の課題
- ・豊かな自然と全国屈指のブロードバンド環境を活かし、空き家や遊休施設をサテライトオフィスとして活用を提案
- ・実証実験後、プロジェクトを本格始動

目標（数値）

「集落再生」を目的にサテライトオフィスの取組みを開始、「ICTの利活用」、「企業のリスク分散」、「新しい働き方・ライフスタイルの創造」などを具体的目標とする。

- ・単なる企業誘致ではなく、企業が地域を理解、地元と共に地域活性化に繋げる

具体的取組

- ①・首都圏ICT企業の協力を得て、サテライトオフィスの実証実験を開始、本社と同等の環境での業務が可能との確認を得る
- ・サテライトオフィスの取組みを交流サイトSNS等で情報発信（関心を集める等）
- ・自治体・NPO・進出企業で構成する「とくしまサテライトオフィス・プロモーションチーム」を設置
- ・お試しツアーの実施（地域の魅力の理解）
- ・空港・オフィス間移動のカーシェアリング制度や県独自の助成制度の導入
- ⑥・高速ブロードバンド環境が整備されていた
- ・県独自の各種補助金制度の創設
- ・首都圏企業の実証事業等入念な事前準備
- ・ステークホルダーとの協働（進出企業を活用したPR、ワンストップのプロモーションサイト）
- ・移住住民への手厚いサポート、働き方の提案

・東日本大震災以降、災害時の業務継続に向けたリスク分散（ICT活用による「テレワーク」等働き方の見直し

規制・環境変化

・実証実験期間を設け、体験・メリットを確認後、オフィス設置

・オフィス利用者が継続的に活動できるよう徳島県独自の助成の創設

解決

徳島県プロジェクト

- ①プログラム（行動）
- ②スケジュール
- ③予算
- ④専門人材
- ⑤推進・運用組織
- ⑥成功要件

地域資源 人材

支援政策 協力者

産学連携 技術

・NPO法人、進出企業で構成するプロモーションチーム

進出企業の社長等（人が人を呼ぶ）

- ・高速・大容量のインターネットが利用可能なブロードバンド網環境（全県で整備済）
- ・古民家等空き家、工場跡等遊休施設
- ・おもてなしを喜びとする価値を持つ住民

成果（数値）

- ・県内4市町に27社が進出（H27.3）
- ・若者を中心に50名を超える地元雇用を創出
- ・豊かな自然環境の中での「新たな働き方」創出ー仕事も生活も充実、コミュニティの担い手となる
- ・進出企業との交流を契機とした高齢者の生きがい創出（「ボランティアガイド養成講座」への参加等による高齢者の生きがいづくり）
- ・旧縫製工場を活用した集合オフィス施設開設

地域の変化

- ・進出企業の社員等で移住者ができるなど地域に定住するようになる/一方、進出企業による高齢者向けITリテラシー向上のための活動が実施される等住民と進出企業の共同による取組が実施されている。

残る課題

- 進出企業と地元が連携して行う「地域づくり」の助成事業を創設するなど取組を発展させ、過疎地域にもたらす効果の「見える化」を実施
- ・県内全域にいきわたる光ファイバー網を活用した県内の他地域への誘導
- ・徳島県の取組みを他県等全国へ広げる

次の行動

- ・全県展開に当たり、各自治体がそれぞれの特色を活かした生活提案などを行い、誘致活動を競争的に繰り広げていく（参考：美波町「海とともにある暮らし」の訴求など）